

子供の教育に関する調査

— 教育トレンドには「3つのE」、そのカギを握る「2つのM」 —

株式会社 Insight Tech（本社:東京都新宿区、代表取締役社長:伊藤友博、以下、当社）は、当社が運営する不満買取センターを通して収集した「子供の教育」についての声を分析しましたのでお知らせいたします。

調査結果 : http://insight-tech.co.jp/static/linkpages/IT_education_2017-07-31.html

■ 調査結果_サマリー

今回、子供の教育に関する調査した結果、現代の教育トレンドには「**3つのE**」とそのカギをにぎる「**2つのM**」がある事が明らかになった。

3つのEとは、「**Early**（早期）」、「**English**（英語）」、「**Encourage**（ほめて伸ばす）」であり、2つのMとは、「**Mother**（母親）」と「**Money**（お金）」である。

様々な場面で、公正・平等が求められているが、教育の平等は実際にはなくなってきているのかもしれない。グローバル化、IT化、AIの浸透に伴い、教育現場がますます多様化していく中で、個々の家庭での対応が重要となっており、まさに今は「教育自己責任時代」と言えるだろう。

■ トピックス

トピック	概要	レポート参照頁数
Early	<ul style="list-style-type: none"> ・多種多様な習い事、0~2才でも3割が何かしらを習っている ・子供が生まれる前から教育は始まり、生まれたばかりで受験や就職を心配している 	17~21P
English	<ul style="list-style-type: none"> ・やってよかった、やればよかった習い事として英語が上位 ・英語堪能な親の方が子供にも英語を求める気持ちは強い 	22~27P
Encourage	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が興味あるものは何でもチャレンジさせたい親心 ・口うるさい親はわずか4人に1人。みんな寛容なのか ・叱るよりも褒めて伸ばすのがトレンド 	28~34P
Mother	<ul style="list-style-type: none"> ・8割超が子供の教育に対する悩みを抱えている ・母親は日常の学習に関する悩みである一方、父親は受験などのイベント ・相談相手は配偶者が多いが、子供が育つにつれて配偶者への相談率は下がる 	9~16P
Money	<ul style="list-style-type: none"> ・年収800万円以上になると中学受験を考える ・中学生でピークを迎える教育費 ・教育熱心と自覚する人は、その通り最も教育費をかけている 	35~40P

調査結果の全資料は下記よりダウンロードください。

http://insight-tech.co.jp/static/linkpages/IT_education_2017-07-31.html

■ 調査概要

調査対象 : 不満買取センター会員 1,000ss
調査手法 : 不満買取センター (web) 内でのアンケート
地域 : 全国
調査期間 : 2017年6月

■ 会社概要

商号 : 株式会社 Insight Tech (<http://insight-tech.co.jp>) 設立:2012年6月19日
所在地 : 〒163-1333 東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー
事業内容 : マーケティング調査やレポート作成
自然言語処理・機械学習などの人工知能を利用したデータ解析受託
企業プロモーションやブランディングサポート
不満買取センターの運営

■ 不満買取センターについて

不満買取センター (<http://fumankaitori.com>) は 2015年3月18日にサービスをローンチしました。
Web 及びスマートフォンアプリを通して生活者からの不満の声を収集しており
現在累計 35万人以上の会員、630万件以上の不満データが集まっています。(2017年7月31日時点)
特定のテーマによる調査依頼、蓄積されたデータ等にご興味のある方は、広報担当までお問い合わせください。

〈本件に関する報道関係の皆様のお問合せ先〉
株式会社 Insight Tech 広報担当:渡部(ワタベ)
TEL: 03-3342-6710 FAX: 03-3342-4944 MAIL: pr@insight-tech.co.jp